

（音声作品を聴き始め、パンツを下ろしシコリ始める主人公のもとに天使ちゃんが乱入）

／／③近

（次の一文のみキャラクターとは声色を変えてください）

『あれえ？ ふふっ…まあ来ちゃったんだあ♪』

今日も…お、ち、ん、ぽ、シコシコしたいんでしょう？』

（次の一文のみキャラクターとは声色を変えてください）

『ああん♪ もうこんなガツチガチにして…』

これ、一回ドピュツちゃっても終わんないね？

くすっ♪ いいよお、お兄さんが死ぬまで付き合っ、あ、げ、る、ね♪』

／／SE：イヤホンを取り上げられる

／／③近（上）

なあにをやっているんですかあ！ ハイっオナニー中断です！

／／⑥中（上）

ふううッ…。天界からちよつと様子見ようと思って覗いてみたら…

なんですかこれはっ。昨日と同じ光景じゃないですかっ。

…いや、確かに一日一回シていいとは言いましたけど

ふつう、怖くてできなくなりましたっ？

お兄さんは死の宣告を受けたんですよ？

なのになんで…そんな涼しい顔でいつも通りできちゃうのか…理解できませんっ。

そもそも一回っていう数をそのままに受け取りすぎなんですよっ。

しかもお…新品のティッシュ箱にエナジードリンク

そしてパソコンの画面に大量に開かれた、おそらく音声視聴ページのタブ！

お兄さん…絶対一回で終わらせる気なかったですよね？

どうなんですか？

…声がめっちゃくちやに裏返ってますよ。

まったくッ。あんなに忠告したのに。

そんなにもシたいんですか？ オナニーを…命を削ってでも…？

（腕を組みうつむき、勃起ちんぽをチラ見して）

んウう~~~~ツ：うぬぬぬツ：。

その：ガチガチになっちゃってるのを見れば

お兄さんの本気具合：というか、熱意はわかります。

（その場に座る）

⑥中

わたしが思うに、お兄さんは、その：女性経験がないゆえに

ひとり慰める行為を生き甲斐と感じてしまっている：気がします。

：なんとなくです。天界から何度も見てましたから。

そうなのかな、って思っただけです。

問題は、それをどう解消すればいいのかということろ：。

どうすればヘンタイさんのお兄さんが満足できるか：。

（ジト目で不本意そうな声色で）

んむむむむうツ：。う~~~~：

：わたしが手伝うしか：ない：ですよね。

：。そのままの意味です。

いつもお兄さん、いかがわしい音声を聴いてるじゃないですか。

それを、いわゆるオカズにしてるんでしょう？

気持ちいいんでしょうけど、孤独な時間であることは変わりないと思います。

ので：わたしが、そのひとときをサポートできれば：。

お兄さんの性欲も、それを増長させる孤独感も収まるんじゃないか、と

いや、べつの方法があればそっちがいいんですけど：、へっ？

（めちゃくちゃ感謝されてタジタジ）

えっえっ、ちよっ：と、そんな、そこまで感謝されることじゃっ：。

天使の仕事：と言えるかはわからないですけど

まあ、はい：ひとの命を扱ってますから、業務の一環ではある：のでしょうか？

…いつまで頭下げてるんですかつ。

もういいですから…ほら、お手伝いしますよ。…よろしくお願いします。

ええと…。いつもお兄さんがシてるみたいに…すればいいんですか？

おちんちんをこう、手で、シュツ、シュツとするやつです。

…わ、わたしはオナニーとか！

シませんからっ！ わからないんですよっ。

シコシコとか手コキとかっ…いかがわしい用語を並べられても。

うう…。とにかく、触ります。早く終わらせちゃいたいですし。

…息がやばいので、ちよつと落ち着いてください。興奮しすぎです——

//SE:すでに我慢汁でぬるぬるのちんぽを握りぐちゅ音

//⑥近

ひゃっ…。えっ、痛かったですか？

…あ、きもちいんですね、まだ握っただけですけど…そうなんですね…。

んっ…な、んか…おちんちんって…。

思ってたのと全然ちがくて、カタいけど、やわらかい…し、熱い…、うああ。

引くくらいビクビクしてるんですけど、これ…動かして大丈夫なやつですか？
爆発したりしません？ …んう、わかりました。

//SE:低速手コキ・継続

ううっ…すごい…こんな音が出ちゃうんですね…。

なんてイヤらしい…欲望のカタマリみたいな物体…。

あの、こんな感じでいいんですか——って、聞くまでもなかったですね
そのご満悦の表情を見れば…。

まあ、はい…ちゃんとできてるならよかったです…。

このまま、ええと…シコシコしてれば出ちゃいます？ …せいえき。

(もっと近づいてほしいと頼まれ)

えっ？ …えつと…？

／＼③接（有声音）

近づくとは、このくらいですか…？

ってあの、お兄さんちよっと、体温がすごいことになってますよ…興奮しすぎですってば…。

…こころなしか、おちんちんも…ぬるぬる度が増してきたような…？

…はああ、ほんとになしてるんでしょう、わたし…。

／＼③近

ツうえ…？

わ、わたしはもともと体温が高いんですっ…

ヘンタイさんと一緒にしないでください。

ひ…、うう…

ヘンタイさんって言うたびにおちんちんが反応するんですけど…

どこまでヘンタイさんで…あっほらまた。

ど、どうしようもないですね…悪循環が完成してますね。

おちんちんもさつきより腫れあがってますし…。

わわ、先っぽの雫が垂れてきましたよお…。

…、どう？ って、ねばついてます…。

えっと、我慢汁…ですよね。

ひどく下品な名称だったので、覚えてました。

…ふつうの程度は知りませんけど

お兄さんが出しすぎなのはなんとなくわかります、我慢汁…。

わたしの手とおちんちに絡みついて、どんどんぬるぬるして…

イヤらしい音が響いて…これが、お兄さんの求めてたものなんですか。

…んう？ はいはい、今度はどんなわがままですか？

（パンツコキをお願いされ）

／＼⑥近

はえ？ な？ パンツコキ？

いえあの、ごめんなさい、日本語でお願いできます…？

／＼SE：手コキ・停止

…、うえええ？ ちよつとなに言ってるかわからないんですけど、えわ、わたしのパンツを…、ええええ…？

いいイヤっ、イヤですよそんなのっ…。

なんでっ…ここまで恥ずかしいことしてるのにつわたしを、天使をなんだと思ってるんですかっ？

えッいやちよつと…。

…ッこの…自分の命を人質にするなんて！

卑怯者ッ、ヘンタイッ、変質者ッ。

わたしのパンツはオナニーの道具じゃないんですよッ。

おててで満足してくださいッ。

あえッ…、お兄さっ…な、泣かなくてもいいじゃないですか。

…そんなにパンツがいいんですか？ 自分の命よりも？

…ッはあああゝゝ…。

ちよつと…あっち向いててください。

…いいから向いててください！

（少し離れたところで愚痴をこぼす天使ちゃん）

／＼③中

ッ…もお、なんでわたしがこんなあッ…。

／＼SE：パンツをしゅるりと脱ぐ音（左耳）

（パンツ脱ぎ音と重ね）うううヘンタイっ、ヘンタイっ…

知り合って間もない異性につ…こんなことさせるなんてっ。

／／⑥近

ほ…ら、脱ぎましたよ…。ひつ、ちょちょ、落ち着いてくださっ…。
パンツの感想なんて要りませんからっ。
っ…これ、おちんちんに被せればいいんですよ。度し難いです…。

／／SE…ぐちゃあとちんぽにパンツ巻き

／／⑤近

ううわああ…、パンツがぐちゃぐちゃにいつ…。
きッ、気持ち悪いッ…。

ッ見たこともないような幸せそうな顔やめてくださいいつ…。
生暖かいのは当然じゃないですかッ、さっきまで履いてたんですからッ。

もう黙っててくださいっ…

シコシコはちゃんとシてあげますからっ…ほら――

／／SE…低速パンツコキ・継続

／／③近

うう、あう、さつきよりおつきくてぬるぬるしてッ…
パンツ越しのおちんちん、火傷しそうなくらい熱くなってるッ…。
ほんっと、ほんっとお兄さんッ…。
うううう…ッ。クロツチにシミが広がって…ッいやあ…。

わたし、もうこのパンツ履きたくないですっ…
洗っても我慢汁が落ちなさそうでっ…。

ふえっ？ えっ…はい…わたし今、パンツ…履いてないです…
って当たり前じゃないですか、お兄さんが脱がせたんですからっ。
…、それをわたしに言わせてうれしいんですか？ …ヘンタイ。

んッ…！ あの、おちんちんで返事するのやめてください…。
そこはかとなく下品です…。

ッふう…はあ、はあ…もおお、暑くなってきたやいました…
ッはえっ？ いや違ッ、興奮してるわけじゃないですっ！ なに言ってるんですか！

／／SE…低速から高速手コキ・継続

ああもうっ、脳ミソが性欲に支配されすぎですッて
ヘンタイッ、ヘンタイッ、ヘンタイいいっ…！

ほらっこうすれば射精できますかっ？

ヘンタイさんっ、いつも射精する直前はこんな速さでやってるでしょっ？
全部知ってるんですからっ。

んっ、やばいんですかっ？

じゃあもう出しちゃってくださいっ

ッ…いいですから、わたしのパンツに射精していいですからッ。

はあっ、はあっ…なんですか弱々しい声上げてっ、切ないんですかっ？
知りませんっ…ほら、早くっ、射精してっ、くださいっ、射精っ、射精っ…！

（凄い勢いの射精、パンツ越しにザーメンが大量に染み出し）

／／⑧近

きやっ！？ ひっ…や、あッパンツから白いのっ…どくどく、してるっ…。

ちよっえ、わっ、ぜんぜんとまんないんですけどっ…！

出しすぎっ…お兄さんがこんな量出すのっ、見たことないっ。

ま、まだ出るんですかっ…、あ、あ、パンツがザーメンまみれになっちゃいますっ
いつまで射精するんですかっ、お兄さんっ…。

／／SE：手コキ・停止

（大量射精にびっくりするもやがて冷静さを取り戻し、お兄さんは白目で放心状態）

っ…あ、やっと終わった…。

え、っと…、お兄さん？ 大丈夫ですか？

／／⑧近↓⑥近に移動しながら

あれっ？ あ、あのお？ もしも…し…。

／／⑥近

し、白目剥いてるっ！ ちよっ、お兄さん生きてますっ！？

わたしのパンツでッ…これじゃわたしが殺したみたいじゃないですかっ！

ちよっとおおおにいさあああんっ！